

(様式1)

平成23年度 第4次総合計画進捗状況表

1 政策一施策

都市像	01 心地よいつながりでつくる自治・協働・平和都市		
政策	03 平和交流・男女共同参画		
施策	01 平和都市の実現と発信の取り組みをすすめる		
めざす内容	先の大戦における沖縄戦の経験を教訓に、姉妹友好都市との交流などを通じて恒久平和を希求する市政を内外に発信するとともに、市内の基地から派生する諸問題の解決を図るとともに、那覇港湾施設(那覇軍港)の跡地対策に向けて、関連機関との連携をすすめていきます。		
施策の取り組みの柱と方針			
1. 平和を希求する市政の発信 ○市政の基本的な理念として平和の希求を掲げ内外に発信します。 ○市民、関係団体による平和・核廃絶を求める運動を支援していきます。 ○戦後70周年事業の開催に向けて、関係機関と協力しながら準備をすすめます。			
2. 国際交流都市の推進 ○アジア地域との交流の伝統を受け継ぎ、これらの地域の子もたちとの交流をすすめていきます。 ○那覇市国際交流市民の会と連携し、市民レベルでの国際交流を促進していきます。 ○海外移住那覇市出身関係者の研修受入および国内外の姉妹友好都市との交流などをすすめます。			
3. 那覇港湾施設(那覇軍港)の返還と跡地利用への取り組み ○那覇港湾施設(那覇軍港)の跡地利用に向けて、関係機関と連携しながら、地権者との合意形成などをすすめていきます。			
施策担当課	所 属 (部・課)		
	主管課	平和交流・男女参画室・那覇軍港総合対策室	関連課

2 成果指標の実績とめざそう値

指標名及び指標番号	単位	現状値	2010	2012	2017	指標の意図・説明
			H22年	H24年	H29年	
7 平和の発信・国際交流についての市政への満足度	%	62 (2006)	71.1	70	80	平和の発信・国際交流に関する市の取り組みに対する市民の評価をみる指標です。 将来的には市民の8割が満足することをめざします。
	取得方法または出典など	市民意識調査。				
H22年度実績に対するコメント または指標値の把握が困難な場合はその理由	2012年の目標値である70%をクリアしている。平和の発信については、普天間基地問題に関する県民の関心が高く、市長がその先頭に立って声をあげていることを評価したものと思われる。					

3 今後の展開方針

今後も沖縄の基地負担軽減及び基地から派生する諸問題の解決に向け、県や関係市町村と連携し、市民・県民の声を関係機関へ伝えるべく行動を続けていく必要がある。那覇港湾施設(那覇軍港)の跡地利用に向けて、引き続き、地権者との合意形成活動を継続する。